

団体名

## 事業計画書

事業名称	作って食べよう隼人米！
事業の対象	宝生苑を利用している高齢者と大住児童館の子供
対象の課題	(根拠) <ul style="list-style-type: none"> <li>・京田辺における高齢者と子供の関わりが少ない</li> <li>・京田辺市に住んでいる高齢者が孤立傾向にある現状</li> <li>・京田辺市のブランド米である隼人米の知名度を上げて地域に関心を持ってもらう</li> </ul>
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者と子供を繋ぎ、地域の交流を深めて地域活性化に繋げる</li> <li>・隼人米と隼人舞を多くの人に知ってもらいたい</li> <li>・今後のお年寄りのイベントを増やすきっかけ作り</li> </ul>
事業の内容	<p>「作って食べよう隼人米！」          高齢者と子供が繋がる料理イベント。          もともと高齢者と子供との繋がりがある宝生苑と提携し、このイベントでは隼人米×京田辺のお茶と鹿児島県のさつま汁を作る。          時期的に隼人米の新米の収穫時期のため、古い余ったものをイベントで使う。隼人米をアピールしていきたいので、特設ブースを作って隼人米の新米を売る。          10月に行われる隼人舞に参加し、農家と提携して隼人米を売る。米をそのまま売るのではなく、加工したものを作って売る。そこで得た利益を11月頃に行う料理イベントで使用する。料理イベントは宝生苑を利用されている高齢者の方とそこに隣接した大住児童館の子供達と行うため、参加費は取らない。</p>
事業の日程	11月2日3日4日のうちの日 京田辺市のイベントに被らない日
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者と子供の関わりをより深めることによって田辺市の未来の貢献につながる。高齢者のイベントを増やしていく第一歩になる。</li> <li>・隼人米を通して自分たちの住む街についての理解を深め、地域への関心を持ってもらう。</li> <li>・ご飯会を通じて、子供から大人まで幅広い世代が地域の特産品を知ることができる。</li> </ul>

※書ききれない場合は、任意の様式を添付してください。